

# ワークライフバランスをめざす 江東区内企業の取り組み



株ダイエー  
人事・人材  
開発本部 労政部  
細岡 智子さん

育児支援の制度も、すでに平成4年から時間短縮勤務制度や休職制度などがスタートし、近年では法定の期間を上回る制度を設けています。平成19年4月に全国の店長が集まって行われたグループ総会で、会社の方針としてワ

## 育児支援制度はあるが、利用は別の問題

給与体系や昇進機会の均等など、ダイエーにはもともと男女平等の伝統がありました。

ワークライフバランスに取り組むことを宣言しました。

その第一段階として同年4月「くるみん」(\*)が取得できたのは、今までの積み重ねがあったからです。でも制度があることと、実際にそれを従業員が利用しているのとは別のことでした。

## まず管理職層から、意識を変えていく

ワークライフバランスの取り組みとして、まずは店長の上司である地区長・本部長と

## (株)ダイエー

東陽2-2-20 03(6388)7100  
http://www.daiei.co.jp

1957年創業の(株)ダイエーは、小売業(スーパー)直営は全国に209店舗、専門店)などを業務としている企業です。総従業員は全国に約28,000人で、そのうち80%がパートタイマーです。女性従業員の数が多いこともあり、昔から職場における男女平等の下地があり、ワークライフバランスの取り組みも比較的スムーズにスタートしました。



いった管理職層を対象にセミナーを開催しました。

管理職層の年代は「男は仕事、女は家庭」の意識がまだ強く、それを変えていく必要があったからです。男女が協力し合って仕事と家庭を両立させていくという考え方をトップに浸透させることが、制度を利用しやすい環境づくりにつながります。上司や同僚への遠慮や昇給・昇進などへの影響が気になって長期の産休や育児休暇を取りづらかったり、時間短縮勤務を利用できなかつたりでは制度の意味がありません。

## 正社員・パートの別なく産休・育休中も支援

育児支援をさらに充実させるために、産休・育休中の従業員の役に立つ新たな制度も

## 子育てに強い味方のファミリーサポート事業

江東区在住で、育児の手助けが必要な方(利用会員)、育児の手助けができる方(協力会員)の登録により、地域の子育てを支援する事業です。利用会員は4ヶ月から小学3年生までの児童がいて当事業に理解のある方です。1時間800円~1000円で、協力会員がお子様を預かります。協力会員の条件は20歳以上心身に健康な方で、資格や子育て経験の有無は問いません。子育てで困っている方の役に立つばかりか、手助けする方にはやりがいある仕事です。

協力会員の河村久子さんは、「私は子育て中、忙しくて病院や買い物にさえ行けません。近所の方に助けていただき、なんとか3人の子どもを育てられました。いつか恩返ししたいと思っていたので協力会員に登録しました。子どもは本当に可愛くて、預かっているとエネルギーをいっぱいもらえます。また日に日に成長していくのを見るのも楽しみで、迎えに行くと笑顔で飛んできてくれたりして、うれしくて仕方ありません。子ども好きなら、リタイアした人の次の社会参加として素晴らしい仕事だと思います。積み重ねた経験を活かすいいチャンスです。協力会員の人がもっと増えて、ぜひ大きく広がってほしい事業ですね」と話します。



▲ファミリーサポートを通して、子どもからエネルギーをいっぱいもらっていると話す協力会員の河村久子さん

手助けが必要な方も、手助けできる方も、どうぞお気軽に下記までお問い合わせください。

●ファミリーサポートセンター事務局  
江東区社会福祉協議会内  
在宅サービス課 ☎(5683)1573  
江東区東陽6-2-17  
高齢者総合福祉センター2F

## 個人の幸せで会社もパワーアップ

今は共働きも増え、社会環境や意識も変わっています。会社としては労働力の確保や、個人能力のレベルアップ

のために、ワークライフバランスが必要で、ワークライフバランスは、個人の幸せと会社の求めるものが合致する取り組みだと思います。大切なのは従業員の選択肢を狭めないこと。仕事と家庭の両立に障害要因があるなら、それを見つけて出していかなければなりません。



▲佐藤博樹東大教授による管理職層対象セミナー。まずはトップからワークライフバランスの考え方を身につけます。

制度の改革は目に見えるのでわかりやすいのですが、意識の改革は効果が見えにくいものです。とにかく継続して走り続け、トライ&エラーを繰り返しながら前進して行きます。

※仕事と子育ての両立に取り組む実績が認められた企業に、厚生労働大臣から贈られる認定マーク